

人権重要課題「子どもたち」を扱った授業が行われました

地区別人権教育研究協議会

東吾妻町立太田小学校

研究授業（道徳科） 主題名：自分のよいところ【個性の伸長（A-4）】 教材名：「3年元気組」



○人権教育の視点から

授業を通して、児童は、自分のよさとは何か、よさに気付くためにどうしたらよいかなどを考えたり、よさを友達から教えてもらったりしたことで**自分のよさに気付く**ことができました。この活動は、**自他を大切に**する気持ちを育むことにもつながりました。

学校教育における人権教育の目標は、【児童生徒が、その発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解するとともに、「**自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること**」ができるようになり、それが、**様々な場面等で具体的な態度や行動に現れる**ようにすること（群馬県人権教育充実指針より）】です。

今回の研究授業は、上記の学校教育における人権教育の目標を踏まえた授業実践となりました。

○「主体的・対話的で深い学び」の視点から

授業者は、**児童の発言によってめあてを設定**したり、**授業を展開**したりしました。そして、**めあてに沿った振り返り**で、**児童それぞれが自分のよさを明確**することができました。また、**友達との会話**で、**気付かなかった自分のよさに気付く**こともできました。「**主体的・対話的で深い学び**」となった授業でした。

人権教育推進資料をご活用下さい！

吾妻の人権教育推進状況 【令和元年度の人権教育推進状況調査より】

成果

- 教職員の人権教育に関する研修の場面は増えている。
- Webページやお便りによる地域や家庭への啓発はすべての学校で行われている。

課題

- △全体計画・年間指導計画の作成、見直しが行われていなかった学校があった。
- △教職員の研修は増えているが、**人権重要課題**に関する研修の実施は少ない。

令和2年度 学校教育の指針 【人権教育の視点】

- ◎**人権重要課題への理解**を深めるとともに、児童生徒一人一人のよさや努力が認められる雰囲気をつくりましょう。

**人権重要課題を
意識した取組を！**

人権教育推進資料



令和2年3月
群馬県教育委員会

人権重要課題とは

- (1)女性
- (2)子どもたち
- (3)高齢者
- (4)障害のある人たち
- (5)同和問題
- (6)外国籍の人たち
- (7)HIV感染者等の人たち
- (8)ハンセン病患者の人たち
- (9)犯罪被害者等
- (10)インターネット等による人権侵害
- (11)その他の人権問題(アイヌの人々、性同一性障害、拉致問題など)

人権教育推進資料は、**人権重要課題11項目と学習指導要領の内容等との関連を一覧表にまとめたもの**です。上記の太田小学校の実践も、本資料の4ページにある人権重要課題「子どもたち」の一覧表を基に、授業を検討しました。人権重要課題は、他にも右記のような項目が挙げられます。

まずは、人権重要課題がどんな課題なのか、研修の機会等を活用し、もう一度、職員全体で御確認ください。そのうえで、本推進資料の一覧表を基に、自校の年間指導計画を見直し、それぞれの重要課題に関わる学習を改めて位置付けるなど、重要課題に関する指導の充実を図っていただきたいと考えます。

人権教育は「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」であり、土に水が染み込むように、時間をかけてゆっくり丁寧に養う教育活動になります。計画的に取り組み、児童生徒が人権感覚を十分に身に付けることができるよう御指導をお願いいたします。

本年度も大変よい授業を参観させていただきました。本年度は新型コロナウイルスの関係で、「主体的・対話的で深い学び」の実践が難しい部分もありましたが、可能な範囲で互いに先生方で授業を参観し合い、授業力の向上を図っていただけるとよいと思います。